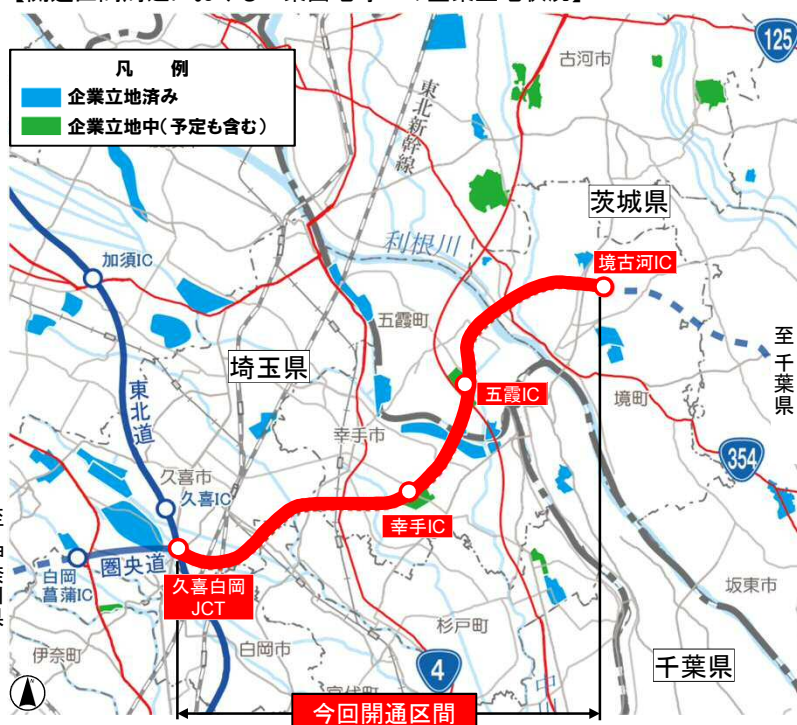


効果② 国際競争力と成長 ～民需の拡大～

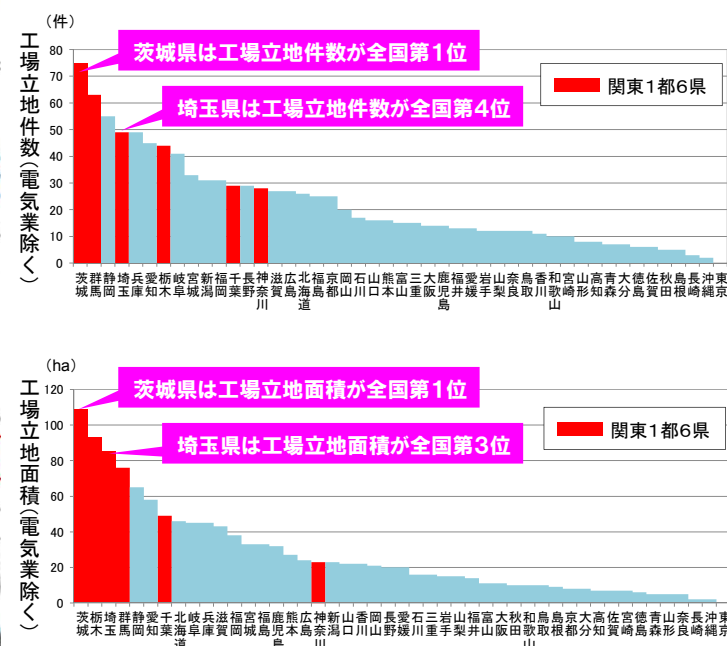
- 平成26年の工場立地件数及び面積は茨城県が全国第1位。今回開通区間においても沿線に物流施設や工場が立地するなど、民間の投資が喚起されています。
- 沿線に立地する企業の方に、移動時間の短縮を実感頂いています。
- 業務効率の向上、市場への運搬回数の増加などに期待していますとの声を頂いています。

物流施設や工場の立地等、民間の投資を喚起

【開通区間周辺における工業団地等への企業立地状況】



【都道府県別の工場立地件数及び面積(平成26年)】



出典) 工業団地等の位置: 埼玉県工場適地図(平成26年度版)、茨城圏央道産業コンプレックス基本計画(H25.4)、圏央道沿線ナビホームページの産業情報をもとに作成。
工業団地等の区分: 沿線自治体のホームページ及びヒアリング結果をもとに作成。(平成27年2月4日時点)

出典) 工場立地動向調査(経済産業省)
「平成26年(1月～12月期)における工場立地動向調査について(速報)」

沿線に立地する企業の声

【物流企業の声(茨城県内)】

- ・ 圏央道が開通するまでは、久喜と古河の営業所間の移動時間は約60分程度かかっていましたが、20分以上短縮されました。
- ・ ドライバーの拘束時間も削減し、業務効率も向上・改善されると思います。

開通前後の走行ルート例



出典) 平成27年4月7日 ヒアリング調査(北首都国道事務所調べ)

【JA茨城むつみ関係者の声】

- ・ 東北道経由で都内の市場(築地、大田等)に行く場合、久喜ICまで約40分かかっていましたが、圏央道の開通により、久喜白岡JCTまで約20分で行けるようになりました。
- ・ 今後の開通により、都心を通せず神奈川の市場(横浜、平塚)への運搬も可能になるため、運搬回数の増加なども期待できます。

開通前後の走行ルート例



出典) 平成27年4月8日 ヒアリング調査(北首都国道事務所調べ)

効果③ 地域経済の好循環 ～観光交流の実現～

- 圏央道の開通により、地域間の移動時間の短縮を実感頂いています。また、沿線観光地では、来園客が増加しているとの声を頂いています。
- 次々とつながる圏央道の整備により、遠方からの観光客増加などに期待していますとの声を頂いています。

観光・レジャー施設等への移動性が向上

一般利用者の声

出典)平成27年3月30日 道の駅「ごか」でのヒアリング調査
(北首都国道事務所調べ)

※区間の開通時期については、土地収用法に基づく
手続きによる用地取得等が速やかに完了する場合



観光に関する主な反応等

○ 圏央道の利用により、広範囲からの来園者を期待！



- ・幸手桜まつりの来園数は、例年の土日は約7～8万人でしたが、**今年は土日で約11万人に増加**しています。特に、駐車場を利用している車両のナンバーより、**栃木県や茨城県から来園者が増加している**と思います。
- ・権現堂公園の管理の充実やPR活動により、さらに**広範囲のお客様が圏央道を利用して来園されることを期待**しています。出典)平成27年4月7日 権現堂公園管理事務所ヒアリング調査(北首都国道事務所調べ)

○ 圏央道の開通により、圏央道を利用したツアールートを検討！



- ・上尾や所沢から幸手桜まつり(権現堂公園)に行くバスツアーでは、来年は**時間短縮、定時性が期待できる圏央道を利用**する予定です。

出典)平成27年4月8日 旅行会社ヒアリング調査(北首都国道事務所調べ)